

2023年中期経営計画

原点回帰、夢創造

2021年6月23日
フジオーゼックス株式会社

2020年 中期経営計画 総括 (2018~2020年度)

経営目標：OOZXブランドの世界展開

	当初目標	成果
国内	稼ぐ力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 中空バルブ生産(傘中空・軸中空バルブ合計) 19年度:21百万本、20年度:17百万本 ● 21年3月 傘中空バルブの安定生産化により三菱重工工作機械との合併を解消、フジホローバルブを完全子会社化(21年7月に吸収合併予定)
海外	中空バルブの世界拡販	● 20年7月 富士気門(広東)有限公司にて軸中空バルブの一貫生産開始
	グローバル経営	● 20年度 富士気門(広東)有限公司からの配当開始
コーポレートガバナンス	CGコードの全項目 Comply	<ul style="list-style-type: none"> ● 20年3月 ガバナンス委員会(※)設置 ● 20年6月 監査等委員会設置会社に移行

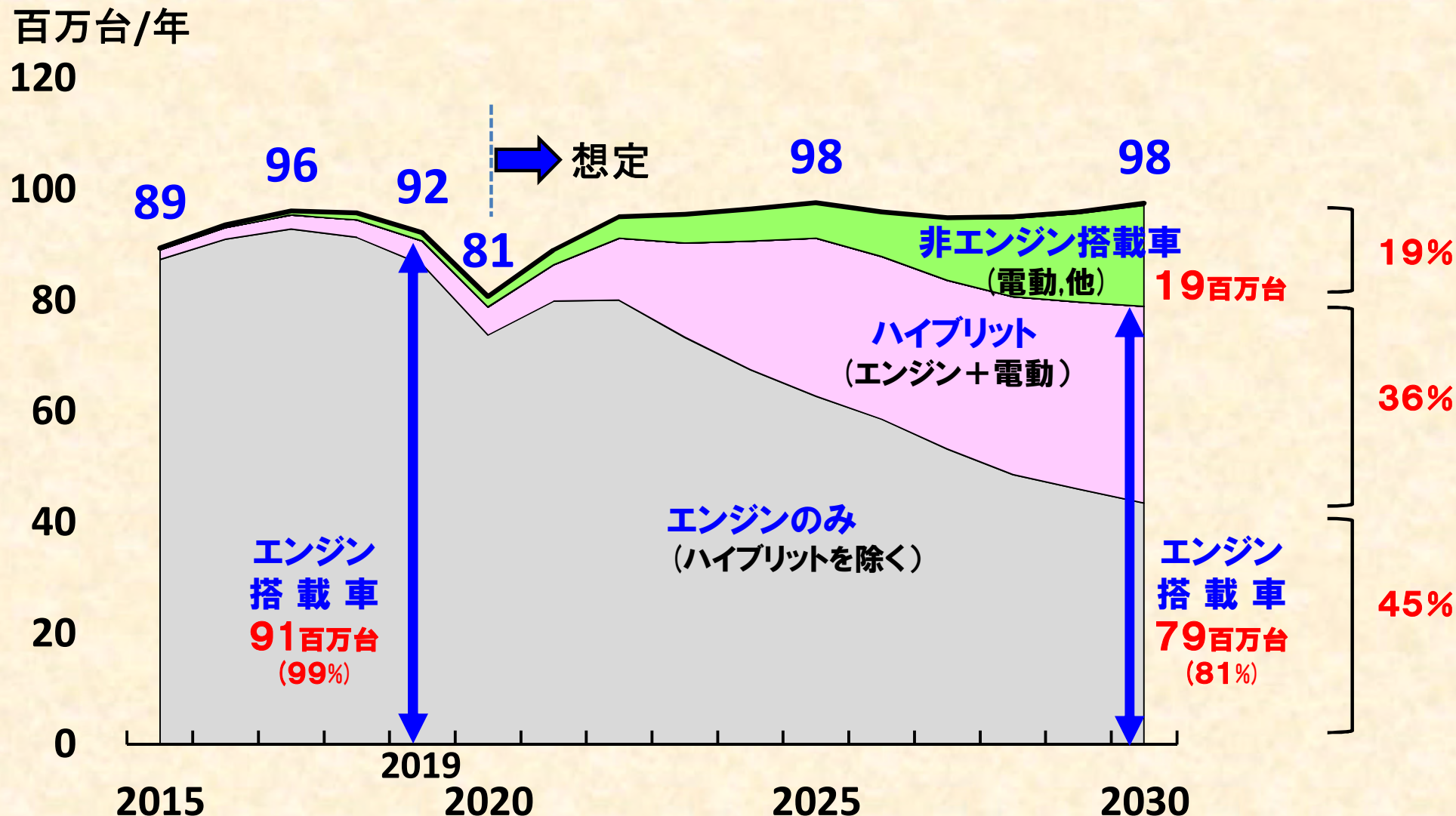
※役員の名指・報酬や少数株主保護などを目的とした諮問委員会

米中貿易摩擦、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延等、経営環境が想定以上に大きく変化してきたため、自動車部品事業の拡大路線から収益・キャッシュフロー重視に方針転換した結果、当初目標に対しては未達となりました。

	当初目標 (A) (19年3月期～ 21年3月期平均)	実績 (B) (19年3月期～ 21年3月期平均)	差 (B-A)
バルブ販売数	149百万本	130百万本	△19百万本
売上高	24,510百万円	21,704百万円	△2,805百万円
営業利益	2,151百万円	807百万円	△1,345百万円
経常利益	2,114百万円	813百万円	△1,301百万円
当期純利益	1,436百万円	541百万円	△895百万円
売上高営業利益率	8.8%	3.7%	△5.1%

2023年 中期経営計画 **(2021年度～2023年度)**

世界自動車販売台数想定 (当社想定)

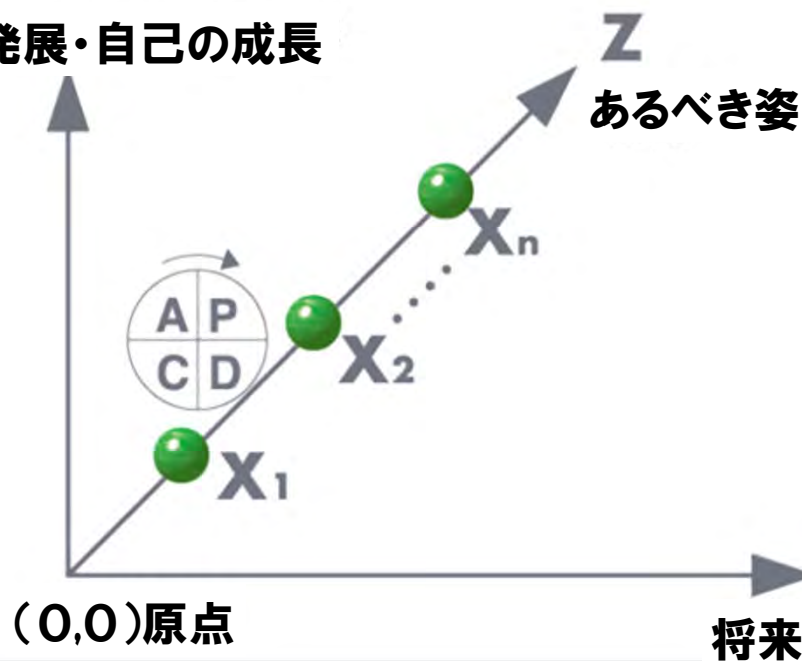


経営理念

1. 技術を極め、顧客の高い満足と強い信頼を頂く商品を提供する。
2. 地球環境を守り、社会責任を全うし、社業を通じて社会に貢献する。
3. 世界を視野に高い目標に挑戦し、企業の発展と個人の成長を実現する。

“原点回帰、夢創造” = OOZX

会社の発展・自己の成長



- 原点
- 現状認識
- 現場、現物、現実を原理・原則に照らして認識する(5ゲン主義)
- あるべき姿
- 理想
- 究極の目標
- 理想に向けて
- 絶え間なき改善
- PDCAサイクルを確実に速く廻す

OOZX Purpose

ものづくりを通じて産業基盤の発展と
地域社会の繁栄に貢献する

本業の
深掘り

新たな
領域の
開拓

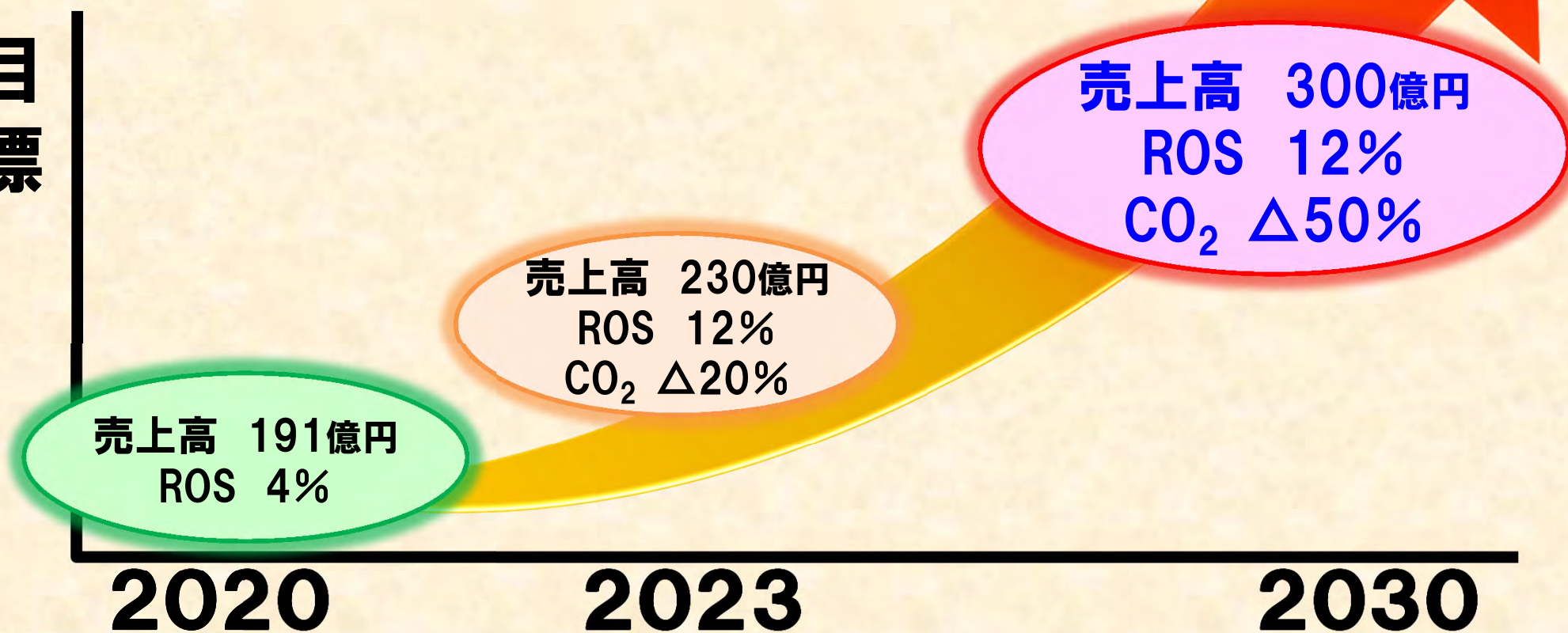
ESG経営

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

OOZX Goals 2030 (目指すべき10年後の姿)

- 👉 自動車部品を基軸にESG経営を実践し、自動車社会の未来へ貢献する
- 👉 新規事業の基軸成長へのステップアップ

目標



将来を見据えた事業構造改革

👉 **グローバル競争力強化に向けた骨太体質への変革**

👉 **新規事業の探索と成長へのステップ**

I 自動車部品事業の安定収益確保

- ✓ コスト構造のあるべき姿への実現
- ✓ 競合対比の顧客信頼性向上とシェアUP機会の獲得

II 新規事業のスタート及び基軸への成長

- ✓ 拡大市場のマーケティングと事業戦略構築
- ✓ 事業投資と成長戦略

III 効率経営推進による社会貢献

- ✓ 経営基盤強化(働き方改革、DX推進、財務改善)
- ✓ ESG経営の実践(SDGsの取り組み、CO₂削減)

経営指標 2023年度 売上高 : 230億円
営業利益 : 27億円 営業利益率: 12%

2023年 中期経営計画 数値目標

- エンジンバルブ事業の合理化推進による利益率向上
- 新規事業、ESG関連中心の積極的な投資
- 株主への利益還元目標は連結配当性向30%以上

	数値目標			
	2021年度（※）	（内 21年4月 ～22年3月分）	2022年度	2023年度
売上高	23,000百万円	21,500百万円	22,000百万円	23,000百万円
営業利益	2,200百万円	1,800百万円	2,400百万円	2,700百万円
当期純利益	1,350百万円	1,050百万円	1,700百万円	1,900百万円
売上高営業利益率	10%	8%	11%	12%
設備投資額	1,500百万円	—	2,000百万円	2,000百万円
連結配当性向	20%	25%	30%	30%以上

※2021年度は決算期統一のため、海外子会社は15ヶ月決算となります

2023年 中期経営計画 重要施策

既存事業の競争力向上	拡販活動	・欧米顧客への新規参入
	原価低減	・多能工化、生産性向上 ・生産設備のスマートライン化
	新技術の開発	・高排温化対応バルブの開発 ・カーボンニュートラル燃料普及対応
新規事業のスタート	既存技術とのシナジー	・バルブ生産技術の応用開発と事業化検討 鍛造技術、中空加工技術の活用
	有望事業への投資	・成長分野の探索と戦略投資 研究開発投資、M&A含めた早期事業化の実現
	地域貢献	・事業を通じての地域経済の活性化
ESG経営の実践	SDGs	・People(人間)、Prosperity(繁栄)、Planet(地球)を重要課題とした取り組み
	カーボンニュートラル	・再生可能エネルギーの導入・拡大、省エネ拡大 ・産業廃棄物の3R (Reduce, Reuse, Recycle) 推進
	働き方改革	・多様な働き方の推進 ・DX推進

当社重要課題：People、Prosperity、Planet

重要課題	テーマ	主な活動内容	2023目標	2030目標
People (人間) 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な働き方 ●ヘルスケア 	<ul style="list-style-type: none"> ●Co-workingスペースの提供 ●男性社員育休取得率向上 ●健康的、多様な食事の提供 	スペース提供 4%以上 多様な食事 スポーツ施設充実	7%以上
Prosperity (繁栄) 	<ul style="list-style-type: none"> ●新製品開発 ●IoT, AI化 	<ul style="list-style-type: none"> ●環境対応バルブ開発 ●新分野製品開発 ●スマート生産ライン構築 	製造技術確立 製造技術確立 モデルライン構築	製品化 製品化 スマート生産工場
Planet (地球) 	<ul style="list-style-type: none"> ●CO₂削減 ●廃棄物削減 	<ul style="list-style-type: none"> ●再生可能エネルギーの導入 ●産業廃棄物3R推進 ●食品ロス削減 	CO ₂ 排出量 20%削減 50%削減 30%削減	CO ₂ 排出量 50%削減 廃棄ゼロ化

本資料に記載されております業績の見通し等の数値につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成しております。

今後発生する経営環境の変化等により実際の業績が大きく予想と異なる可能性がありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また、今後予告なしに見通し数値が変更されることがあります。本資料の情報の使用による結果について、弊社は何ら責任を負うものではないのでご了承下さい。

フジオーゼックス株式会社